

日程第6 橋本市農業委員会委員の推薦について

○議長（井上勝彦君）日程第6 橋本市農業委員会委員の推薦について を議題といたします。

お諮りいたします。

農業委員会等に関する法律第12条第2項の規定により、本市議会が推薦する農業委員会選任委員は4人とし、指名推選の方法により推薦いたしたいと思えます。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（井上勝彦君）ご異議なしと認めます。

よってそのように決しました。

お諮りいたします。

指名の方法については、議長において指名することにいたしたいと思えます。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（井上勝彦君）ご異議なしと認めます。

よってそのように決しました。

橋本市農業委員会委員に、橋本市高野口町九重49番地 井尻丈士さん、それから橋本市高野口町大野1136番地 池田泰子さん、橋本市恋野122番地 芋生孝治さん、橋本市学文路472番地の4 廣田征男さん、以上の4人を指名いたします。

お諮りいたします。

ただ今、議長において指名いたしました4人を、橋本市農業委員会委員に推薦することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（井上勝彦君）ご異議なしと認めます。

よって、ただ今指名いたしました井尻丈士

さん、池田泰子さん、芋生孝治さん、廣田征男さん、以上4人を橋本市農業委員会委員に推薦することに決しました。

○議長（井上勝彦君）この際、報告いたします。

総務委員長、経済建設委員長、文教厚生委員長及び議会運営委員長から、委員会において審査及び調査中の事件につき、会議規則第104条の規定により、お手元に配付いたしました申出書のとおり、閉会中の継続審査及び調査をいたしたい旨の申し出があります。

お諮りいたします。

委員長申し出のとおり、閉会中の継続審査及び調査に付することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（井上勝彦君）ご異議なしと認めます。

よって、委員長申し出のとおり、それぞれ閉会中の継続審査及び調査に付することに決しました。

○議長（井上勝彦君）以上で本日の日程は終わりました。

これにて本議会に付議された案件の審議は全部終了いたしました。

○議長（井上勝彦君）閉会にあたり、市長から発言の申し出がありますので、市長の発言を許します。

市長。

〔市長（木下善之君）登壇〕

○市長（木下善之君）橋本市議会6月定例会の閉会にあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

議員各位におかれましては、今月11日の開会から本日まで19日間にわたり、ご提案させていただきました24件の案件すべてに対して、終始慎重なるご審議を賜りましてご可決いただき、厚く御礼を申し上げます。審議の過程でいただきましたご指導、ご助言につきましては、今後、十分慎重に検討してまいりたいと考えております。

さて、今会期中の6月19日午後5時過ぎ、台風4号が和歌山県南部に上陸しました。上陸した台風としては観測史上7番目の早さということで、この時期の台風はフィリピンのほうへ向かうことが多いのですが、例年になく太平洋高気圧が強く、また偏西風の影響を受け、列島縦断コースをたどったところがあります。

幸い本市には大きな被害はございませんでしたが、全国的には多くの方が避難するなど被害が出ております。さらに、台風5号が梅雨前線を刺激し、21日から22日の夜半にかけて大雨が降り、本市でも夜半に災害対策本部におきまして警戒第2号を発令し、関係部長会議を開催したところでございます。

この大雨により、市道の法面の土砂崩れ等がございましたが、担当部局には早急な復旧を指示いたしましたところであります。本市では一面が水浸しになるといった被害はありませんでしたが、和歌山市などでは水路等のはんらんにより、多くの土地が水につかる、家屋の床上、床下浸水となるといった大きな被害が出ております。被害に遭われた方々に、心からお見舞いを申し上げます。これからが梅雨本番、また台風シーズンでございますので、本市の配備体制等につきましては、再点検を行ってまいりたいと思っております。

さて、東日本大震災による福島第一原子力発電所の重大事故の影響で全国的に停止していた原子力発電所の再稼働を政府が決定しまし

た。皆さまご承知のとおり、関西電力管内の大飯原子力発電所でございますが、関西電力は他の電力会社と比べ原子力発電所に依存する比率が高く、もし再稼働しなければ15%程度の電力が不足、計画停電も懸念されるところでございました。しかし、私も被害の状況、福島の皆さまの苦しみを考えますと、複雑な思いがいたします。

これからは人口も減少もだんだんとしてまいりますので、その点からも将来的には脱原発、再生可能エネルギーへと流れを進めるのが我が国の歩む道だと思っております。ただし、今すぐに原子力発電をすべて廃止するなど性急な脱原発は、多くの面で影響が大き過ぎ、賛成できません。本市では企業誘致も精力的に行っておりますが、電力が不足するようでは、企業誘致は困難をきわめておるのが現状でございます。22日には、関西電力から大規模停電を防ぐための計画停電の実施概要が発表されましたが、このようなことがなきよう、関西電力には対処願いたいと思っております。

本市といたしましても、クールビズの期間を昨年よりさらに延ばしまして5月1日から10月15日とし、また庁舎の周りには、ご承知のゴーヤーを植えて強い日差しをさえぎるなど節電に努めております。議員各位におかれましても、今後、節電のご協力、ご支援方をよろしく願いをいたします。

次に、企業誘致についてでございますが、開会のときにお話させていただきました、株式会社丸阪との調印が近日中に行われる見込みとなりました。工場の敷地面積は約1万1,263㎡で、新規地元雇用予定人数は20名、土地を含めた総投資額は約4億5,000万円となっております。主に水道管の最新鋭の継ぎ手を製造するという事をお聞きしております。創業時期につきましては平成25年10月の

予定でございます。私も来月には、新たな企業誘致のために、さらなる営業活動を行ってまいりたいと考えております。

これより梅雨が明けますと、いよいよ灼熱の太陽が降り注ぐわけでございますので、どうか皆さん方には夏ばて等十分ご注意をいただき、どうか行政各般につきまして、今後ともご指導、ご鞭撻をいただきますようお願い

申し上げます、6月市議会定例会の閉会にあたってのあいさつといたします。

ご苦労さんでございました。ありがとうございました。

○議長（井上勝彦君）これにて、平成24年6月橋本市議会定例会を閉会いたします。

皆さん、どうもご苦労さんでございました。

（午前10時50分 閉会）